

～第三回 日独ジョイントレクチャー～

「日本史をグローバル史の視点からとらえる：
蔓延する暴力、国際武器貿易と明治維新」

(ハイデルベルク大学トランスカルチュラル・スタディーズセンター
ハラルド・フース教授)

今般、ハイデルベルク大学トランスカルチュラル・スタディーズセンターのハラルド・フース教授をドイツから迎え、下記のとおりレクチャーを開催します。

日本の近代化の幕開けを告げることになった明治維新。欧米列強の経済的・軍事的な脅威が政治的、社会的な改革を進めたとされています。その当時の日本に英・米・仏・独などから大量の武器が輸入されていました。
その意味するところは？

フース教授は日本の近現代史におけるグローバル化を研究されています。今回のレクチャーでは幕末の交易が専門の籠谷直人教授（人文科学研究所）をコメンテータに迎え、武器貿易を切り口に明治維新の捉え方についてお話いただきます。

どなたでもご参加いただけますので、多くの皆様のご来場をお待ちしています。なお、レクチャーは日本語で行われます。

記

日時：2017年4月19日（水） 18:15～19:45（受付 18:00～）

会場：京都大学吉田国際交流会館 1階南講義室（吉田南構内）

スケジュール

18:20 開会挨拶

京都大学人文科学研究所長
教授 高木博志

18:25 レクチャー

ハイデルベルク大学トランスカルチュラル・スタディーズセンター
ハラルド・フース教授

「日本史をグローバル史の視点からとらえる：
蔓延する暴動、国際武器貿易と明治維新」

19:05 解説

京都大学人文科学研究所
教授 籠谷直人

19:25 質疑応答、ディスカッション

19:45 レセプション（於：ハイデルベルク大学京都オフィス）

20:30 閉会

司会進行：サビーネ・シェンク（ハイデルベルク大学京都オフィス）
神野 智世子（京都大学学術研究支援室）

以上

(*) 日独ジョイントレクチャーは、相互にオフィスを持つハイデルベルク大学と京都大学が両大学の学術交流の深化と発展を記として不定期に開催されるものです。

参加登録は、4月17日（月）までに氏名、所属機関を記載の上、以下のメールアドレス宛ご連絡ください。

参加登録・問合せ先：

ハイデルベルク大学京都オフィス（HUOK）

Email: info@huok.uni-heidelberg.de

Tel: 075-753-5413

講師プロフィール

ハラルド フース（Harald Fuess）教授：

ハイデルベルク大学Heidelberg Center for Transcultural Studies(HCTS) 歴史学教授。ヨーロッパ日本研究協会（EAJS）名誉会長。研究分野は日本の近現代史におけるグローバル化。主に社会、経済、法律分野を専門に研究活動を行っている。プリンストン大学B.A.、上智大学留学、東京大学社会科学研究所外国人客員研究員、ハーバード大学Ph.D.

<http://www.asia-europe.uni-heidelberg.de/de/personen/person/persdetail/fuess.html>

籠谷直人教授：

京都大学人文科学研究所教授。専門分野は日本経済史。戦前期日本の工業化と華僑ネットワークをテーマに研究活動を行っている。

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/zinbun/members/kagotani.htm>